



# 産科だより

康心会汐見台病院

令和4年

◆臍帯血（さいたいけつ）の保管について  
前回の産科だよりに引き続き、へその緒に関するお話です。

臍帯血バンクってご存知でしょうか？臍帯血とは、へその緒や胎盤の中を流れている血液のことで、これを保管する施設のことを言います。時々、ニュースにもなっていますが、この臍帯血を利用して脳性麻痺の予防や治療への効果や、有効な治療法がない病気や障害への応用が進んでいます。

臍帯血は通常の血液とは異なり、血液の主成分（赤血球・白血球・血小板など）を作る細胞（造血幹細胞）や、さまざまな細胞に変化するこ

とができる幹細胞が多く含まれています。生まれながらの未熟な幹細胞は大人から採取するものと比較し、増殖する能力が高いことが特徴です。  
臨床研究では、脳性麻痺によって寝たきりだった子が歩行器を使用して方向できるようになったり、細菌感染による後遺症で右脳梗塞、左片麻痺、色覚異常があった子が、左片麻痺の改善、色覚異常で見分けられなかった12色が識別できるようになったとのことです。具体例としては挙げられていないものの、脳性麻痺患者6名に本人

の臍帯血を1回投与したところ、全員で効果が確認されたそうです。また、本人の臍帯血だけでなく、妹や弟の臍帯血を患者に投与する研究もされており、投与した2人の経過は順調ということです。

臍帯血を投与することで病状が改善するのは、幹細胞が脳の損傷部位や、その周辺の細胞に働きかけ、炎症を抑えたり、神経や血管の再生を促進したりして損傷部位の修復を助けるためではないかと考えられています。

臍帯血は出産時にしか採取することができません。当院で採取することは可能ですが、臍帯血バンクから保管用のキットなどが必要になりますし、当院は採取のみであり、保管に関しては臍帯血バンクを通じていただきます。そのため、事前に臍帯血バンクにご自身で問い合わせをしていただく必要がありますので、ご注意ください。

当院では妊婦健診の時にいらっしゃる保健指導の時にパンフレットをお渡ししています。ご興味のある方は家族で話し合いをし、臍帯血バンクに問い合わせをしたのち、決まり次第、当院へお伝えください。

### ◆臍帯の保管について

臍帯血の保管に関してお話しましたが、新たに臍帯の保管も開始したそうです。臍帯から採取した細胞を培養し、先天的な身体異常の治療



に活用する狙いだそうです。現在の治療法は、自身の骨移植などが必要であり、身体への負担が大きいです。培養した臍帯の細胞を必要な部位移植することができれば、本人への負担はかなり減らすことができるでしょう。

当院でも臍帯血の採取は何例か行っていますが、先日、初めて臍帯の採取を行いました。臍帯血の採取を希望する患者さまは多い印象は受けませんが、昨年までと比較すると増加しています。産まれてくる我が子のためにあげられることの一つとして検討してみても良いかもしれません。

（参考：株式会社ステムセル研究所発行資料、北海道新聞 2021年9月11日）

### ◆今月の赤ちゃん

カラフルなバスタオルにくるんだこの子は、陣痛開始から1時間45分で産まれてきました。早すぎるお産に担当助産師もびっくりでしたが、なんとか陣痛室から分娩台に移動してお産になったようです。

10/20  
16:35  
3480g  
46.5 cm  
女の子



### ◆お知らせ

康心会汐見台病院の公式LINEができました。当院のタイムリーなお知らせを受け取ることができます。受信専用となりますので、ご了承下さい。

担当：郷原

